

第Ⅲ部 今年度の事業内容と次年度以降の課題

1 委員会事業の概要

(1) 広島県合同輸血療法委員会の開催 (H27. 6. 27)

平成 23 年度の設置から 5 年目を迎えた「広島県合同輸血療法委員会」の活動として、6 月 27 日に委員会を開催した。委員会では、役員の選出、前年度の事業報告及び今年度の事業内容の検討を行い、各委員から了承を得た。

昨年度の研修会からの輸血前後感染症検査の実施に対する関心の高まりから、今年度の新規の取組として、輸血前後感染症検査の手順書を作成するほか、研究事業として輸血療法に関するアンケート調査及び訪問相談事業も引き続き実施することにも了承が得られた。

議事終了後、輸血前後感染症検査の手順書について各医療機関の出席委員から、状況等について発言を求め、それを踏まえて、出席者全体で意見交換を行った。

(詳細は、「第Ⅰ部 広島県合同輸血療法委員会」のとおり)

(2) 広島県合同輸血療法研修会の開催 (H28. 2. 6)

県内医療機関等から、217名（医師24名、薬剤師37名、看護師42名、臨床検査技師99名及びその他15名）の参加を得た。

今回の研修会のテーマは「輸血の副作用」に焦点を当て、特別講演として山口大学医学部附属病院 輸血部 准教授 藤井康彦美先生をお招きして「知っておきたい輸血の副作用と対策」と題して特別講演をいただいたほか、県内でも実際に起きている事例として、県内医療機関の輸血の副作用に係る事例報告 2 題を事例報告していただいた。

(詳細は、「第Ⅱ部 広島県合同輸血療法研修会」のとおり)

(3) 県内医療機関における輸血療法の標準化に向けた相談応需

平成 24 年度から医療機関を訪問して相談応需業務を行う事業を実施しており、今年度も県内の医療機関から「輸血療法に関すること」について相談応需の希望を募ったが、申込みがなかった。

(4) 幹事会の開催

今年度も引き続き、詳細な事業内容等は幹事会において調整しながら実施していく。

《幹事会構成》

(H27. 6. 27現在)

役職	氏名	所属	備考
委員長	高田 昇	広島文化学園大学看護学部看護学科	教授(医師)
副委員長	藤井輝久	広島大学病院 輸血部長	医師
幹事	岩戸康治	広島赤十字・原爆病院 輸血部長	医師
	二宮基樹	市立広島市民病院 副院長	医師
	日高秀邦	市立福山市民病院 中央手術部長	医師
	荒谷千登美	呉共済病院検査部輸血科主任	臨床検査技師
国委託事業担当	田中純子	広島大学大学院医歯薬保健学研究院	教授
事務局	入船秀典	広島県赤十字血液センター学術・品質情報課	
	平岡一貴	広島県健康福祉局薬務課	
	徳永克志	広島県健康福祉局薬務課	

《幹事会の活動状況》

開催回	年月日	概要	出席者
第1回 (県赤十字 血液センター)	H27. 4. 25 (土) 15:00～ 17:00	1 平成 26 年度の報告 [資料：事業実施報告書] 2 平成 27 年度広島県合同輸血療法委員会の開催について 3 輸血前後の感染症検査の手順書（仮称：広島県輸血マニュアル）の作成について 4 平成 27 年度のアンケート実施 5 平成 27 年度委託事業への応募について 6 訪問相談事業について 7 研修会（1～2 月頃開催）の講師について	高田, 藤井, 岩戸, 小野, 荒谷, 山本, 入船, 海嶋, 平岡, 徳永
第2回 (県庁本館 602会議室)	H27. 9. 8 (火) 18:30～ 20:30	1 厚生労働省「血液製剤適正化方策調査研究事業」の受託について 2 現在までの調査研究事業の実施状況について 3 輸血後感染症検査の手順書及び輸血手帳の作成について	高田, 藤井, 岩戸, 田中, 日高, 荒谷, 山本, 入船, 海嶋, 平岡, 徳永
第3回 (県庁本館 602会議室)	H27. 11. 19 (木) 19:00～ 21:00	1 輸血前後検査の手順書(仮称)及び輸血手帳(仮称)の作成について 2 輸血療法に関するアンケート及び平成 27 年度合同輸血療法研修会について	高田, 藤井, 二宮, 日高, 荒谷, 山本, 入船, 平岡, 徳永

2 「輸血療法に関するアンケート」調査報告（詳報）

広島県内の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握するため、血液製剤の供給量の多い医療機関を対象にした調査を、平成23～26年度に引き続き実施した。

なお、昨年度に引き続き、自らの医療機関の状況を相対的に比較し、輸血療法の向上に資するため、同意が取得された回答について医療機関名や輸血実績等を公表することとした。

（調査の集計結果及び医療機関の回答状況（抜粋）は、以下を参照してください。）